



平成 31 年度 事業報告書

平成 31 年 4 月 1 日から 令和 2 年 3 月 31 日まで

法人名：特定非営利活動法人

熊本在宅ドクターネット

1 事業の成果

1. 訪問診療支援事業としては、M L（メーリングリスト）を活用し直接会員同士が調整できる環境を整備している。まだ件数は少ないが、主治医より副主治医の依頼があって、直接医師同士の調整が出来ている状況である。また、介護施設の嘱託医の依頼などにも活用されており、今後は更に有効活用できるように工夫をしていきたいと考えている。

2. 医療情報交換事業及び学術講演会については、医師会との共催による在宅医療定例研修会を 8 月と 11 月の年 2 回開催した。予定していた第 3 回の定例研修会は、新型コロナウイルス感染症の蔓延により開催を延期している状況である。内容としては、第 1 回目「あなたの往診バックを見せてください」をテーマとし、実際に使用している在宅医の往診バックを見せて頂くなど、より実践的な研修会を開催した。参加者からは、実際の診療の様子も含めて紹介がありとても有意義であったとの声が聞かれた。

また第二回目では、以前より課題として挙がっていた、施設との連携について各方面の代表者にご登壇頂きディスカッションを行った。診療側だけでなく、施設側からも実際の現場の声や制度上の様々課題などについて紹介してもらい、互いに課題の共有ができた。

参加者からの声として「施設側の理解が進んだ」、「自分たちの役割を見直すきっかけとなった」などの相互理解が大切であるなどの声が多く聞かれた。

以上のように他職種との連携を含めたより実践的な研修会の開催ができ、参加者からも好評を得た研修会になったと実感している。しかし、一般市民への市民公開講座の開催ができず、来年度に取り組んでいきたいと考えている。

3. 情報提供、広報事業、出版事業などについては、M L（メーリングリスト）を活用した、研修会の案内や会員同士の意見交換・交流を行った。在宅医療における疑問や課題点を会員同士が直接やり取りができ活発に意見交換ができた。また、今年度の反省そして在宅医療における現状と問題点や課題などを抽出する為に、アンケート調査を行い、正会員 78 名中 39 名から回答得た。回答結果としては、医師の診療体制や診療人数や対応可能な医療的な処理など、より具体的な意見を提示してもらった。この結果を集計し、会員へ周知し更なる在宅医療体制の充実に繋げていきたい。

（研修会の案内）

- ・熊本緩和ケアカンファレンス
- ・小児在宅医療関係研修会
- ・九州在宅医療フォーラム
- ・在宅褥瘡セミナー 等

（疑問・課題点）

- ・会員から上がった疑問点や課題
- ・在宅医療に関する診療報酬関係の算定方法
- ・各種補助金事業について
- ・在宅看取り時の対応について（死亡診断書の取り扱い等）
- ・感染対策について

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者の範囲 及び人数	支出額 (千円)
1. 訪問診療支援事業	主治医・副主治医 コーディネート事業	H31/4/1 ～ R2/3/31	熊本在宅 ドクターネット 事務局	78 名 (会員数)	熊本県内 医療従事者他 20 名	0 円
2. 医療情報 交換事業	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者の範囲 及び人数	支出額 (千円)
2－1 第1回 在宅医療 定例研修会	「あなたの往診かばんを見 せてください」 田島和周先生 (田島医院) 清藤千景 (清藤クリニック) 後藤慶次 (ひまわり在宅クリニック)	H31/8/29 (木)	熊本市医師会 館2階 研修 室	5 名	熊本県内 医療従事者他 100 名 → 参加者 45 名	33 千円
2－2 第2回 在宅医療 定例研修会	「居宅系施設における在宅 医療について 座長：清田武俊 講師：竹口真隆先生 本庄弘次先生 藤井泰彰先生 後藤慶次先生	R1/11/14 (木)	熊本市医師会 館2階 研修 室	5 名	熊本県内 医療従事者他 100 名 →参加者 77 名	50 千円

3. 学術講演会 開催事業	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の 範囲及び人数	支出額 (千円)
3-1 第1回 在宅医療 定例研修会	「あなたの往診かばん を見せてください」 田島和周先生 (田島医院) 清藤千景 (清藤クリニック) 後藤慶次 (ひまわり在宅クリニック)	H31/8/29 (木)	熊本市医師会 館2階 研修 室	5名	熊本県内 医療従事者他 100名 →参加者 45名	0円
3-2 第2回 在宅医療 定例研修会	「居宅系施設における 在宅医療について 座長：清田武俊 講師：竹口真隆先生 本庄弘次先生 藤井泰彰先生 後藤慶次先生	R1/11/14 (木)	熊本市医師会 館2階 研修 室	5名	熊本県内 医療従事者他 100名 →参加者 77名	0円
4. 上記事項に関 する情報提供、 広報事業、出 版事業	熊本在宅ドクターネット ホームページによる広報 在宅医療に関するアン ケート	随 時	熊本在宅 ドクターネット事 務局	3名	全国 不特定多数	61千円

□ 第1回 在宅医療定例研修会

令和1年 8月29日(木) 19時より 熊本市医師会館にて

「あなたの往診かばんを見せてください」

第1回 在宅医療定例研修会
「あなたの往診かばんを見せてください」

題意:「日本在宅医療学会における最新のトピックス」

在宅医療の未来と何を携えていったらいいの?
どんな往診バッグが便利なんだろう?
いろんな人の往診バッグを見てみたい

講師: 田島医院 田島 和周 先生
清藤クリニック 清藤 千景 先生
ひまわり在宅クリニック 後藤 慶次 先生

日本在宅医療学会 2 号館 (CC 12: 地域医療 2F: 在宅医療) まで

2019年 8月29日(木) 19時~21時(18時30分開場)

熊本市医師会館 2階 研修室にて

参加費: 無料
お申し込み: <https://forms.gle/7GdCvT7n5Gv4t4356>

熊本市在宅医療ネットワーク事務局 Tel: 070-7583-3251 Fax: 076-500-5203
〒910-0124 熊本市南区江崎2-14-25 ひまわり在宅クリニック内 熊本市・熊本 Email: office@npo-kzd.or.jp

(参加職種)

(講師) 田島 和周 先生
清藤 千景 先生
後藤 慶次 先生

医師	26	医療事務	2
歯科医師	1	管理栄養士	1
看護師	10	介護福祉士	1
薬剤師	2	行政	1
MSW	1	合計	45

第1回目の研修会は、3名の先生方が実際に使用している往診バックの中身を3つのブースに分かれ説明して頂き、参加者からはとても参考になったなどの声が多く聞かれました。ご参加頂いた方の中には、メーカーや型番号など詳しく聞かれている方もおられました。これから在宅医療を始めたい医師の方や医師以外にも在宅医療に関心のある多職種が集まってくださいました。

令和1年 11月14日(木) 19時より 熊本市医師会館にて

「居宅系施設における在宅医療について」

□ 第2回 在宅医療定例研修会

令和元年度 第2回 在宅医療定例研修会
「居宅系施設における在宅医療について」

(座長) 春日クリニック 清田 武俊 先生

(第1部) 講演会

1. 在宅医の立場から そのだ脳神経外科清田武俊先生
中庄内科病院 中庄 弘次 先生
2. 居宅系施設の立場から 特定入居者生活介護連絡協議会会長 藤井 泰彰 先生
3. 施設へ訪問する際の制度上の制約について
ひまわり在宅クリニック 後藤 慶次 先生

(第2部) パネルディスカッション

日本在宅医療学会 2 号館 (CC 12: 地域医療 2F: 在宅医療) まで

日本在宅医療ネットワーク 熊本市医師会 熊本市医師会館

在宅医と施設へ訪問する際の、施設職員がどう思っているように聞いてください。
施設職員) 在宅医へお願いしたいこと、ぜひぜひコミュニケーションがとれている。
どうしたらいいか教えてくれる人、一緒に考えてくれる人?

2019年 11/14(木) 19:00~21:00 (18:30開場)

熊本市医師会館 2階 研修室

参加費: 無料
お申し込み: <https://forms.gle/7GdCvT7n5Gv4t4356>

熊本市在宅医療ネットワーク事務局 Tel: 070-7583-3251 Fax: 076-500-5203
〒910-0124 熊本市南区江崎2-14-25 ひまわり在宅クリニック内 熊本市・熊本 Email: office@npo-kzd.or.jp

(参加書職種)

(座長) 清田武俊先生
(講師) 竹口真隆 先生
本庄弘次 先生
藤井泰彰 先生
後藤慶次 先生

医師	32	施設職員	2
看護師	12	相談員	2
MSW	6	保健師	1
ケアマネ	7	管理栄養士	1
介護士	7	行政	2
事務	4	歯科医師	1
		合計	77

第二回目研修会は、「居宅系施設における在宅医療について」をテーマに春日クリニック清田先生を座長とし、在宅医の立場から、そのだ脳神経外科竹口真隆先生、本庄内科病院本庄弘次先生、居宅系施設の立場から、特定入居者生活介護連絡協議会会長藤井泰彰先生、そして施設へ訪問する際の制度上の制約についてひまわり在宅クリニック後藤慶次先生にご講演頂きました。当日は、病院、診療所の関係者のみならず、介護施設や居宅介護支援事業所、訪問看護ステーションなど幅広い事業所からご参加頂きました。

参加頂いた方からは、実際の診療時の話など実践的な話も聞けて、とても勉強になった、提示頂いた連携上の課題などを今後取り組んでいきたいなどの声が聞かれました。その他、登壇された各先生がたの熱気を帯びた話に元気をもらったなどの声も聞かれ、会場も大いに盛り上がりしました。

□ 在宅医療についてのアンケート調査

調査票

令和2年1月実施

調査票は、1医療機関1回答をお願いします。

締め切り：2月12日水曜日

- 在宅療養支援診療所、支援病院の登録をされていますか？
a. している b. していない c. 今はしていないが検討中
- 在宅療養支援診療所の先生にお尋ねします、施設基準を教えてください。
a. 一般形 b. 強化型（基礎型） c. 強化型（連携型）
このことについて、熊本在宅ドクターネット会員各機関に表記したいと思いますが、希望されますか？
（2019年調査で希望者については掲載済み）
a. 希望する（公開名） b. 希望しない
- 貴院は何か体制で訪問診療を行っているでしょうか？
（非常勤を含む、連携医療機関の医師を除く）
常勤（ 名） 非常勤（ 名）
- 訪問診療を行っている時間を教えてください。
例ね、週に何回何日かを訪問診療にあてていますか？ 約（ ）時間
また要添に訪問診療を行っているスケジュールを教えてください。
例） 週3日、14時～17時 ならば、 3時間×3日間で 9時間
- 現在、個人宅（老人ホーム等の同一建物以外）に訪問診療を行っている患者さんは何名ですか？
延べではなく月のレセプトベースでお答えください。 （ 名）
- 現在、施設（老人ホーム等の同一建物）で訪問診療を行っている方は何名ですか？
（ 名）
- 設問5.6の患者さんで該当する領域の人数を教えてください。
a. がん緩和（ 名） b. 人工呼吸器管理（ 名） c. IVH管理（ 名） d. 小児（ 名）
e. その他（ ）
- 貴院では、現在診えている患者さんに加えて、新たにあと何名くらい訪問診療が可能でしょうか？
（ 名）
そのうち がん緩和ケア、人工呼吸器管理、小児 の受け入れはあと何名可能でしょうか？
a. 緩和（ 名） b. 人工呼吸器管理（ 名） c. 小児（ 名）
d. 貴院で力を入れている分野などありましたら記入してください。

○アンケート期間：

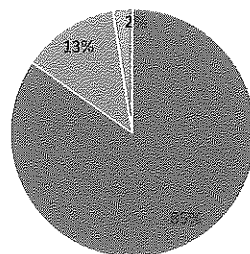
令和2年1月30日（木）～2月19日（水）まで
郵送及びFAXにて正会員へ送付。

○正会員（78名へ配布）

○回答者：39名（回答率50%）

アンケート調査結果

1. 在宅療養支援診療所、支援病院の登録をされていますか？



■ a. している ■ b. していない ■ c. 今はしていないが検討中

平成31年度 活動計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

(特定非営利活動法人 熊本在宅ドクターネット)

科目	金 額 (単位: 円)		
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費	222,000		
賛助会員受取会費	20,000		
過年度分受取会費	12,000		
		254,000	
2 受取寄附金			
受取寄附金			
施設等受入評価益		0	
3 受取助成金等			
受取補助金	88,168		
		88,168	
4 事業収益			
	0		
		0	
5 その他収益			
受取利息	12		
雑収入	0		
経常収益計		12	
			342,180
II 経常費用			
1 事業費			
(1) 人件費			
給料手当			
臨時雇賃金			
法定福利費			
人件費計		0	
(2) その他経費			
講師謝礼	80,000		
通信費	50,119		
事務用品費	11,240		
旅費交通費	100		
会議費	3,300		
	144,759		
		144,759	
事業費計			
2 管理費			
(1) 人件費			
給料手当			
役員報酬			
福利厚生費	0		
人件費計	0		
(2) その他経費			
委託費	120,000		
消耗品費	993		
源泉徴収金額	8,168		
支払い手数料	7,969		
地代家賃			
雑費			
その他経費計	137,130		
		137,130	
管理費計			
経常費用計			281,889
当期経常増減額			60,291
III 経常外収益			
1 固定資産売却益		0	
経常外収益計			0
IV 経常外費用			
1 過年度損益修正損		0	
経常外費用計			0
当期正味財産増減額			60,291
前年度繰越正味財産額			1,347,351
次期繰越正味財産額			1,407,642

平成31年度 貸借対照表

令和 2年 3月 31日現在

特定非営利活動法人 熊本在宅ドクターネット

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	1,443,642		
未収金			
.....	1,443,642		1,443,642
流 動 資 産 合 計			
2 固定資産			
(1)有形固定資産			
車両運搬具			
什器備品			
.....			
有形固定資産計			
(2)無形固定資産			
.....			
無形固定資産計			
(3)投資その他の資産			
敷金			
.....			
投資その他の資産計			
固 定 資 産 合 計			
資 産 合 計			1,443,642
II 負債の部			
1 流動負債			
前受金	36,000		
流 動 負 債 合 計	36,000		36,000
2 固定負債			
長期借入金			
退職給与引当金			
.....			
固 定 負 債 合 計			
負 債 合 計			36,000
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		1,347,351	
当期正味財産増減額		60,291	
正味財産合計			1,407,642
負債及び正味財産合計			1,443,642

活動予算書の注記(平成31年度)

法人名：（ 熊本在宅ドクターネット ）

1. 重要な会計方針
活動予算書の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正NPO法人会計基準協議会）によっています。

2. 事業費の内訳

単位：円

科目	訪問診療支援事業費	医療情報交換事業費	学術講演会開催事業費	上記事項に関する 情報、広報事業、 出版事業費	合 計
(1) 人件費					
日当	0	0	0	0	0
臨時雇賃金	0	0	0	0	0
法定福利費	0	0	0	0	0
(2) 人件費計	0	0	0	0	0
その他経費					
講師謝礼	0	80,000	0	0	80,000
通信費	0	0	0	50,119	50,119
租税公課	0	0	0	0	0
事務用品費	0	0	0	11,240	11,240
雑費	0	0	0	0	0
旅費	0	100	0	0	100
交通費	0	0	0	0	0
広告宣伝費	0	0	0	0	0
保険料	0	0	0	0	0
その他経費	0	3,300	0	0	3,300
人件費計	0	83,400	0	61,359	144,759
その他経費計	0	83,400	0	61,359	144,759
合計	0	83,400	0	61,359	144,759

平成31年度 特定非営利活動に係る事業会計財産目録

令和2年 3月 31日現在

法人名：特定非営利活動法人 熊本在宅ドクターネット

科目・摘要	金額（単位：円）		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金（現金手許有高）	539		
普通預金（肥後銀行 流通団地支店）	1,443,103		
未収金			
流動資産合計		1,443,642	
2 固定資産			
車両運搬具			
什器備品			
パソコン1台			
固定資産合計		0	
資産合計			1,443,642
II 負債の部			
1 流動負債			
前受金	36,000		
流動負債合計		36,000	
2 固定負債			
長期借入金			
銀行借入金			
固定負債合計		0	
負債合計			36,000
正味財産			1,407,642